

平成 22 年 5 月 25 日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役 CEO 此下 竜矢
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

太陽光発電パネル製造用ラミネーター用 大型シリコンシートの量産化成功について

当社のゴム製品の製造・販売を行う子会社、昭和ゴム株式会社（代表取締役 渡邊 正）において、太陽光発電パネル製造用ラミネーターに使用される大型のシリコンシートの量産に成功し、製品の出荷を開始いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

全世界の電力利用量は、ASEAN や BRICs の経済発展の影響もあり爆発的に増え続けております。現在の発電方式の主流は、火力発電であります。火力発電には、原油価格等の影響を受けやすいことや、将来の化石燃料の枯渇、CO2 の排出という大きな問題があります。

そのような状況の中で注目されているのが、太陽光発電や水力発電、風力発電等、再生可能エネルギーを利用した発電方法であります。これらの発電方法は、現在地球温暖化の原因といわれている温室効果ガスを排出することはありません。

特に、太陽光発電は、地球に無尽蔵に降り注いでいる太陽の光を利用した発電方法であり、大規模な施設がなくても、屋根や壁面に土地を占有することなく設置できることも大きなメリットとなっております。ヨーロッパを始め世界各国では国家レベルで太陽光発電を助成しており、今後最も将来性がある発電方法と考えられております。同時にアジアにおいても送電網を



タイ・ミャンマー国境地帯 アカ族の村の太陽光パネル

(当社最高経営責任者撮影)

整備することが難しい山岳地帯などにおける電化を進める上でも注目されており、ラオス、ブータンなどの国をはじめ、タイ、ベトナムなどにおいても「草の根経済」の成長を支える有力な発電方法と考えられております。

この太陽光発電パネルを製造する機器には、現在シリコン製のシートが多く使われております。しかしながら、このシリコンシートは小面積の製品はできても、シリコンの性質上取扱いがデリケートな面があり、大型で真っ平らなシートを作成することは技術的に非常に困難でありました。



太陽光発電パネル製造用 大型シリコンシート

しかしながらこの度、当社の子会社である昭和ゴム技術開発(株)の研究開発陣の精鋭である石川副社長氏と河野部長、河西氏また同じく当社子会社の昭和ゴム(株)の製造技術のスペシャリストである木村取締役氏と山崎部長らベテラン陣の経験と知識を生かした尽力により、これら大型のシリコンシートの製法を確立し、従来にはない超大型のシリコンシートの出荷を開始しました。

当社の柏工場には、アジアでも屈指の大きさを誇る 5000 トンプレス機を有し、お客様のご要望により、更に大型なシートや自由な形状のシートを作成することが可能となっております。JSR 株式会社(東証一部上場 証券コード 4185)の子会社である JSR トレーディング株式会社と総代理店契約を締結し、同社と協力しその販売普及に努めて参ります。



左から河西、山崎、石川、木村

又、昨年当社が策定した中期経営計画におきましては、海外(アジア)への展開も重点項目のひとつとして掲げられております。この一環として昨年 11 月には、マレーシアのライニング事業会社「TOYO RUBBER (MALAYSIA) SDN.BHD.」の株式を取得し、連結子会社化しました。同社はライニング事業を行う会社でありましたが、今後のアジアでは人口増加、都市化、「草の根経済」の成長は疑いようもなく、電力消費量も爆発的に増えることが見込まれております。当社といたしましては、今回のシリコンシートを太陽光発電分野に参入する戦略的製品と考えております。

またアジアに本拠地を置く当社が所属する APF グループのネットワークも活用し、すで

に出荷が始まっております海外（アジア）での大型シリコンシート受注拡大も目指していく所存です。

また同時に、本年 4 月 21 日に発表いたしました「国内最大級の（ゴムライニング用）大型加硫缶の更新（再建造）について」にありますように、太陽光発電と同じく、CO2 を排出しないとされる原子力発電において、当社はゴムライニング事業のリーディングカンパニーとして、当社は長年実績を積み重ねており、これからも着実な展開を国内、アジア両地域で図る所存です。

今後成長が見込まれる、クリーンエネルギー発電施設を当社の成長の一つの軸として育成し、株主の皆様、投資家の皆様のご期待に添うべく尽力してまいります。

今後とも中期経営計画を達成し、株主と社員の幸福に貢献する「200 年企業」を目指し経営改革を進めて参りますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

*当社ならびに当社が所属する APF グループのアジア経済見通しについては、今年 3 月に新発売になりました当社最高経営責任者此下竜矢著書、「アジア投資で儲ける必勝法（角川 SS）」に詳しく記しております。

以 上